2020年度　鹿児島大学工学部
編 入 学 学 生 募 集 要 項

○推薦による選抜

○学力検査による選抜

鹿児島大学工学部
郵便番号 890－0065
鹿児島市郡元一丁目21番40号
電話 099－285－3264

鹿児島大学の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

１　教育目標

前文

鹿児島大学は，進取の気風にあふれる総合大学として，学生の潜在能力の発見と適性の開花に努め，自主自律と進取の精神を有する人材の育成を目指す。

そのために次の教育目標を掲げる。

１．幅広い教養と高度な専門的知識・技能を身につけ，諸課題を発見・探究・解決する能力を育む。

２．豊かな人間性と倫理観を身につけ，向上心をもって自ら困難に立ちむかう態度を養う。

３．地域における活動に積極的に関わり，社会の発展に貢献できる行動力を養う。

４．グローバルな視野をもち，国際社会の発展に貢献できる実践的な能力を育む。

２　求める学生像

鹿児島大学は，次のような学生を求めています。

１．鹿児島大学の教育目標に共感し，それを実現できる基礎学力や考える力と意欲をもつ人

２．人間としてのモラルを大切にし，教養をより高めようとする人

３．知的向上心に富み，専門職業人として社会に貢献することをめざす人

４．ボランティアやインターンシップをはじめ，広く具体的体験に積極的に取り組む意志をもつ人

工学部の教育目標

知識基盤社会を先導する工学部は，高度な専門職業人の養成教育において，ひとりひとりの学生が自ら向上心をもって主体的に学修し，困難に立ち向かう「自主自律と進取の精神を有する学士（工学)」の育成を目指します。そのため，次の教育の目標を掲げます。

１.「ものづくり」において地域社会及び国際社会で活躍できる技術者・研究者を目指す学生に，幅広い教養と高度な専門能力を育みます。

２．獲得した知識や技術等を統合的に活用することにより，人類社会や文化と自然との調和ある発展に貢献する能力を養います。

３．高度な工学技術や知識を，実社会における課題解決のために応用できる創成能力を養います。

４．豊かな人間性と普遍的な倫理観に基づき，自ら向上心をもって次代を切り拓く力を養います。

５．社会的な責任を担いつつ，グローバルな教養人として生涯にわたって自己研鑽に取り組む力を養います。

工学部の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

１．求める人材像

工学部は，本学部の教育目標に共感できる次のような人を，国内外から広く求めています。

・工学部の学位授与の方針を達成できる基礎学力ないしは素養のある人

・工学の面白さを学びたい，ものづくりに取り組んでみたい，技術開発に挑戦したい等の夢をもつ人

・自ら考え，主体的に学修する目的意識が明確で，そのための学修意欲が高い人

２．入学前に身につけて欲しいこと

高等専門学校等から編入学する場合，高等専門学校レベルの一般教養，数学，英語などの基礎学力のほか，各学科での専門教育に対応できる専門教育科目の基礎的な知識と能力が必要となります。

３．入学者選抜の基本方針

工学部では，高等専門学校等からの編入学では，「推薦による選抜」と「学力検査による選抜」により編入学者を選抜します。

・編入学の「推薦による選抜」では，面接などを課し，高等専門学校長の推薦書・調査書，成績証明書を含め，基礎学力，学習意欲，目的意識などを評価し選抜します。
・編入学の「学力検査による選抜」では，専門教育科目などの学力検査，面接などを課し，基礎学力，学習意欲，目的意識などを評価し選抜します。

各学科の教育目標及び入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

【機械工学科】

＜教育目標＞

次世代を担う技術者・研究者を育成するため，以下を教育目標にしています。

１．人類の幸福と福祉，エネルギーと環境，人間と社会などの調和を洞察できる能力を身に付けます。
２．国際的な場で活用できる外国語の基礎的な能力を身に付けます。
３．数学や自然科学の基礎の基に，工学的基礎に関する知識を身に付けます。
４．機械工学の基礎学力を修得し，それらを問題解決に活用できる能力を身に付けます。
５．機械工学の知識を総合的に応用して，工学的問題を自主的に分析し解決するデザイン能力を身に付けます。
６．調査，討論，発表などを通じて自らの課題を発見し，それを解決する能力を身に付けます。
７．自己の能力を主体的に生涯にわたって継続して向上できる能力を身に付けます。

＜入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）＞

１．求める人材像

機械工学科では，次世代を担う技術者・研究者の育成を目指しており，次のような人を国内外から広く求めています。

・機械工学科の学位授与の方針を達成できる基礎学力を有し，論理的・物理的思考に対する素養がある人
・機械工学に大いに興味があり，真摯に学ぼうとする意欲，向上心・探究心にあふれる人
・高等学校生活等で培われた精神力と協調性があり，科学的発想などに豊かな感性がある人

２．入学前に身につけて欲しいこと

高等専門学校等から編入学する場合，高等専門学校レベルの一般教養，数学，英語などの基礎学力のほか，機械工学科での専門教育に対応できる専門教育科目の基礎的な知識と能力が必要となります。

３．入学者選抜の基本方針

機械工学科では，高等専門学校等からの編入学では，「推薦による選抜」と「学力検査による選抜」により編入学者を選抜します。

・一般入試（前期日程）では，大学入試センター試験で５教科７科目，個別学力検査で数学（数Ⅱ・数Ⅲ・数Ａ・数Ｂ）と理科（物基・物，化基・化から１）

・編入学の「推薦による選抜」では，面接を課し，高等専門学校長の推薦書・調査書，成績証明書を含め，学習意欲，目的意識などを評価し選抜します。

・編入学の「学力検査による選抜」では，専門教育科目などの学力検査，面接を課し，基礎学力，学習意欲，目的意識などを評価し選抜します。

【電気電子工学科】

＜教育目標＞

工学部の教育目標を受けて，電気電子工学科では次のような人材（技術者・研究者）の育成を目標としています。

１．基盤となる基礎教育を身につけ，発展的に将来の科学技術の進展に柔軟に対応する能力を養います。

２．地球環境に配慮した高度情報化社会の基盤を支え，科学技術の発展と人類の幸福に貢献できる広範かつグローバルな思考力を養います。

３．電気電子工学に関する知識に基づいて，論理的な思考，技術の応用と創造，問題の発見と解決ができる能力を養います。

＜入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）＞

１．求める人材

電気電子工学科では，次のような向学・研究心あふれる人を求めています。

・電気電子工学科の教育目標に共感し，それを実現できる基礎学力・意欲をもつ人

・研究・応用分野での最先端の知識・実践力を身につけ，社会で活躍したい人

・国際的コミュニケーション能力を身につけ，国際的に活躍したい人

２．入学前に身につけて欲しいこと

高等専門学校等から編入学する場合，高等専門学校レベルの一般教養，数学，英語などの基礎学力のほか，電気電子工学科での専門教育に対応できる専門教育科目の基礎的な知識と能力が必要となります。

３．入学者選抜の基本方針

電気電子工学科では，高等専門学校等からの編入学では，「推薦による選抜」と「学力検査による選抜」により編入学者を選抜します。

・編入学の「推薦による選抜」では，面接を課し，高等専門学校長の推薦書・調査書，成績証明書を含め，基礎学力，学習意欲，適性について評価し選抜します。

・編入学の「学力検査による選抜」では，専門教育科目および基礎教育科目の学力検査，面接を課し，電気磁気学・電気回路学の専門基礎学力，数学の基礎学力，学習意欲，適性について評価し選抜します。

【建築学科】

＜教育目標＞

包括的な教育を基盤とした建築学総合プログラムとして，次の具体的な教育目標を掲げています。

1．技術者の使命感と倫理観

建築技術者としての使命感と倫理観を持って建築を考える能力を養う。

2．工学の基礎知識・能力

建築技術を理解するための工学の基礎能力を養う。

3．建築の基礎知識・能力

建築における基本的な考え方と基礎的な建築技術を理解して応用できる能力を養う。

4．建築の高度な知識・能力

高度な建築技術を理解して建築の設計へ応用できる基礎能力を養う。

5．自主的・継続的学習能力とエンジニアリング・デザイン能力

新しい建築文化や建築技術の創造へつながる自主的・継続的学習能力およびエンジニアリング・デザイン能力（必ずしも正解の無い複合的な課題に対して，創造的かつ効果的な解決策を提示できる能力）を養う。

6．多面的に考える能力

幅広い視野に立って多面的に建築を考えることができる素養を身につける。

7．コミュニケーション能力とチームで仕事をするための能力

建築に関する国内外の活動の場でコミュニケーションができる基礎能力とチームで仕事をするための能力を養う。

＜入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）＞

1．求める人材像

建築の役割は，個々の建物から都市までを対象として，学術と技術と芸術の３つの面を融合して，人々に快適な空間を創造することです。建築学科では，数学，理科，語学，地理歴史，公民に関する基礎学力を有し，科学と芸術と社会の広い分野に関心を持つ次のような学生を求めています。

・建築を造りたいという情熱を持っている人
・建築と人間や社会や環境との関係に興味がある人
・建築デザインの分野で能力を活かしたいと考えている人
・安全で美しい建築を造る技術に関心のある人

2．入学前に身につけて欲しいこと

高等専門学校等から編入学する場合，建築系を専攻している志願者は，構造力学，建築計画，環境工学に関する基礎知識が必要となります。建築系を専攻していない志願者は，英語，数学，力学の基礎学力を有し，建築への情熱と，建築の考え方を理解できる能力が必要となります。

3．入学者選抜の基本方針

建築学科では，高等専門学校等からの編入学では，「推薦による選抜」と「学力検査による選抜」により編入学者を選抜します。

・編入学の「推薦による選抜」では，面接，小論文を課し，高等専門学校長の推薦書･調査書，成績証明書を含め，基礎学力，学習意欲，目的意識などを評価し選抜します。

・編入学の「学力検査による選抜」では，「建築系を専攻している志願者」に対しては，専門教育科目の学力検査，面接などを課し，基礎学力，学習意欲，目的意識などを評価し選抜します。「建築系を専攻していない志願者」に対しては，一般教養科目の学力検査，小論文，面接などを課し，基礎学力，学習意欲，目的意識などを評価し選抜します。

【環境化学プロセス工学科】

＜教育目標＞

工学部の教育目標を受けて，環境化学プロセス工学科では次のような人材（技術者・研究者）の育成を目標としています。

1．人類の持続可能な共生社会創出のため，国際的視野から多様な地域社会に寄与できる豊かな人間性，社会性，高い倫理観をもつ人材

世界的な視点から文化・自然環境・地域社会を多面的に考え，より豊かで持続可能な人類社会の創出に寄与する科学技術の役割とその倫理的責任を良く理解した技術者・研究者になる。

2．自然科学の基礎知識と教養，および確かな化学工学専門知識に基づく設計と応用によって人類社会に貢献できる人材

自然･数理科学及び技術に関する基礎知識と化学及びその関連分野の専門技術に関する応用能力を涵養し，専門技術者として工学的諸問題を解決できる技術者・研究者になる。

3．チーム内での役割を制約下で果たし，地域の文化や風土および産業と調和した工学技術をデザインできる人材

多様な地域社会の文化･風土･産業をよく理解し，それらと調和した化学工学技術を与えられた制約内で設計し，チーム内での役割を果たせる能力を備えた技術者・研究者になる。

4．国際的な情報交換と協調および生涯にわたる自己研鑽によって，社会の要請する新技術の開拓に積極的に貢献できる人材

科学や技術の進歩に対応して自発的に研鑽し生涯学習に努め，多くの専門分野の人々と日本語ならびに英語による文書・口頭あるいは情報メディア等による基本的かつ効率的なコミュニケーションができる技術者・研究者になる。

＜入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）＞

1．求める人材像

環境化学プロセス工学科ではアドミッションポリシー（入学者受入方針）として，本学科の教育目標の観点から，化学，物理，数学，英語についての基礎的能力を有している次のような学生を求めています。

・環境と調和した社会の創出に共感し，それを実現するための科学の基礎知識と意欲をもつ人
・化学工学的視野から公共の福祉や持続可能な人類社会の創出に自主的，継続的に貢献する意欲のある人
・コミュニケーション力や協調性を養い，世界に視野を向けて様々な問題に取り組むことに関心のある人
・化学工学の専門技術を身につけ，高い倫理観をもって研究開発を通して地域社会へ寄与することをめざす人

２．入学前に身につけて欲しいこと

高等専門学校等から編入学する場合，高等専門学校レベルの一般教養，数学，英語などの基礎学力のほか，本学科での専門教育に対応できる専門教育科目の基礎的な知識と能力が必要となります。

３．入学者選抜の基本方針

環境化学プロセス工学科では，高等専門学校等からの編入学では，「推薦による選抜」と「学力検査による選抜」により編入学者を選抜します。

・編入学の「推薦による選抜」では，面接を課し，高等専門学校長の推薦書・調査書，成績証明書を含め，基礎学力，学習意欲，目的意識などを評価し選抜します。

・編入学の「学力検査による選抜」では，基礎教育科目（化学，物理，数学）の学力検査，面接などを課し，基礎学力，学習意欲，目的意識などを評価し選抜します。

【海洋土木工学科】

＜教育目標＞

海洋土木工学科は，以下に示す幅広い視野と高い倫理観及び海洋に関する深い理解とそれに関連した土木工学に関する豊富な知識・判断力を有する人材（技術者・研究者）を養成することを目的としています。そのため，次の教育目標を掲げます。

１．人類の幸福と福祉について考えることのできる能力を養成します。

２．エネルギーと環境，人間と社会の持続的な調和を考えることのできる能力を養成します。

３．地域社会及び国際社会においてコミュニケーションができる能力を養成します。

４．数学や自然科学の基礎と工学基礎に関する知識を活用できる能力を養成します。

５．土木工学の基礎知識を工学的デザインに活かし，持続的な社会の発展に貢献できる能力を養成します。

６．海洋環境の開発と保全について総合的判断ができる能力を養成します。

７．チームによる調査・討論・発表などを通じて，地域社会の課題を自主的に発見し，それを分析・解決できる能力を養成します。

８．卒業後も主体的に学習を継続できる能力を養成します。

＜入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）＞

１．求める人材像

海洋土木工学科は，海洋に関する深い理解とそれに関連した土木工学に関する豊富な知識・判断力を有する人材の育成をめざしています。このような観点から，本学科では次のような学生を求めています。

・高等学校で学ぶ数学・理科などの基礎学力を十分にもち，論理的思考の好きな人

・持続可能な国土・海洋の開発と保全に関する話題に関心をもち，関連分野で活躍したい人

・自然環境と人間社会との調和・共生に関わる技術開発に興味と情熱をもつ人

２．入学前に身につけて欲しいこと

高等専門学校等から編入学する場合，高等専門学校レベルの一般教養，数学，英語などの基礎学力のほか，海洋土木工学科での専門教育に対応できる専門教育科目の基礎的な知識と能力が必要となります。

３．入学者選抜の基本方針

海洋土木工学科では，高等専門学校等からの編入学では，「推薦による選抜」と「学力検査による選抜」により編入学者を選抜します。

・編入学の「推薦による選抜」では，面接，小論文を課し，高等専門学校長の推薦書･調査書，成績証明書を含め，基礎学力，学習意欲，目的意識などを評価し選抜します。

・編入学の「学力検査による選抜」では，「土木系を専攻している志願者」に対しては，専門教育科目などの学力検査，面接を課し，基礎学力，学習意欲，目的意識などを評価し選抜します。「土木系を専攻していない志願者」に対しては，学力検査，小論文，面接を課し，基礎学力，学習意欲，目的意識などを評価し選抜します。

【情報生体システム工学科】

＜教育目標＞

次世代を担う技術者・研究者を育成するために以下を教育目標としている。

１．技術者の使命と倫理

豊かな人間性と社会性を備え，自然科学，工学および情報技術の発達が社会と自然におよぼす影響と技術者の責任についてグローバルな視点から理解し，考えられる人材

２．基礎学力

情報生体システム工学の基礎となる数学，物理学や情報システム基礎などの基礎学力を身につけ，その知識を問題解決のために応用できる人材

３．ソフトウェアの知識と応用力

プログラミング，ソフトウェア工学とその関連分野の理論と応用を学び，プログラミング能力とソフトウェア開発のための能力を持つ人材

４．情報システムの知識と応用力

計算機システム，情報ネットワークとその関連分野の理論と応用を学び，システムを構築できる人材

５．情報生体システム工学の専門知識と応用力

情報システムや認知・生体システムにおけるより専門性の高い知識と応用を学ぶことができる人材

６．コミュニケーション能力

正しい日本語による論理的記述力，発表能力，コミュニケーション能力や，英語による基本的なコミュニケーション能力を持つ人材

７．デザイン能力

現状分析と問題点抽出のための情報収集能力や自主的で継続的な学習姿勢と，解決に至る計画を自ら立案し遂行できる人材

＜入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）＞

１．求める人材像

情報生体システム工学科は，本学科の教育目標に共感できる次のような人を，国内外から広く求めています。

・情報生体システム工学科の学位授与の方針を達成できる基礎学力ないしは素養のある人

・工学の面白さを学びたい，ものづくりに取り組んでみたい，技術開発に挑戦したい等の夢をもつ人
・自ら考え，主体的に学修する目的意識が明確で，そのための学修意欲が高い人

2．入学前に身につけて欲しいこと

高等専門学校や理工系の短期大学または専修学校などから編入学する場合，編入学に相応しい一般教養，数学，英語などの基礎学力のほか，情報工学・生体工学の先端技術を学ぶための専門基礎学力及び基礎知識と理解力，表現能力などの能力が必要となります。

3．入学者選抜の基本方針

情報生体システム工学科では，高等専門学校等からの編入学では，「推薦による選抜」と「学力検査による選抜」により編入学者を選抜します。

・編入学の「推薦による選抜」では，面接，小論文を課し，高等専門学校長の推薦書･調査書，成績証明書を含め，編入学に相応しい基礎学力のほか，情報工学・生体工学の先端技術を学ぶ上で必要となる専門基礎学力及び基礎知識と理解力，表現能力，勉学意欲等を評価し選抜します。
・編入学の「学力検査による選抜」では，専門教育科目などの学力検査，面接などを課し，編入学に相応しい基礎学力のほか，情報工学・生体工学の先端技術を学ぶ上で必要となる専門基礎学力及び基礎知識と理解力，コミュニケーション能力，勉学意欲等を評価し選抜します。

【化学生命工学科】

＜教育目標＞

次世代を担う技術者・研究者を育成するために以下を教育目標としています。

1．豊かな人間性と社会性による倫理観を備え，国際的視野のもと，自然・環境の摂理と諸科学の基礎知識を吸収して共生する能力を養成します。
［人類の共生］（人間性，倫理観，基礎科学，人類と自然の共生）

2．数学，工学基礎や情報処理技術，そして化学工学に関する基礎知識と能力を養成します。
［基礎推進能力］（工学基礎；情報技術，化学工学）

3．応用化学の，特に分子工学と材料化学の基礎知識を柔軟に駆使し，新材料やバイオ技術の創製と評価に生かせる継続的な創造能力を養成します。
［持続的成長］（専門基礎と専門；分子工学，材料化学，バイオ技術，化学計測）

4．日常的・国際的コミュニケーション能力を養成します。
［コミュニケーション能力］（プレゼンテーション，外国語，実用英語，文献検索・整理）

5．フレッシュマンセミナー，学生実験，演習，卒業研究・講座ゼミ，学外実習・工場見学等を通じ，与えられた要求に対して，知識・技術を駆使して総合的に判断し，実現可能な解決方法を提案できるデザイン能力を養成します。
［総合的判断・デザイン能力］（卒業研究，学外経験，地域問題，継続的学習能力）

＜入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）＞

1．求める人材像

化学生命工学科では，化学の知識を役立てることにより，地球環境や生命との調和を図りつつ人類社会の持続的発展に寄与できる人材の育成をめざしています。特に化学・生物・物理に

ついての十分な学力を有し，勉学意欲があり，広範な視野と柔軟性を備え，積極性に富む次のような学生を求めています。

・新物質や機能材料の創製に意欲のある人
・バイオテクノロジーに興味をもち，医薬や医用材料の創製に意欲のある人
・分析や化学計測に関心をもつ人
・環境保全やエネルギーなどに興味をもつ人

２．入学前に身につけて欲しいこと

高等専門学校等から編入学する場合，高等専門学校レベルの一般教養，数学，英語などの基礎学力のほか，化学生命工学科での専門教育に対応できる専門教育科目の基礎的な知識と能力が必要となります。

３．入学者選抜の基本方針

化学生命工学科では，高等専門学校等からの編入学では，「推薦による選抜」と「学力検査による選抜」により編入学者を選抜します。

・編入学の「推薦による選抜」では，面接を課し，高等専門学校長の推薦書・調査書，成績証明書を含め，基礎学力，学習意欲，目的意識と適正などを評価し選抜します。
・編入学の「学力検査による選抜」では，専門教育科目による学力検査及び面接を課し，基礎学力，学習意欲，目的意識と適正などを評価し選抜します。

目　　次

募集する学科等 …… 1

推薦による選抜 …… 2～4

学力検査による選抜 …… 5～9

編入学後の履修について …… 10

注　意　事　項 …… 11

障害のある入学志願者の事前相談 …… 12

入　学　手　続 …… 13

入試情報開示 …… 14

（資料）平成30年度入学者選抜に関する入試状況 …… 15

入学者選抜実施日程

出　願　期　間	2019年５月７日㈫～５月10日㈮
選抜試験実施日	2019年５月25日㈯
合　格　者　発　表	2019年６月10日㈪
入学手続期間	2019年７月11日㈭～７月12日㈮

※編入学生募集要項の請求

郵便で募集要項を請求する場合は，返信用封筒（角形２号封筒に205円切手を貼り，受信者の郵便番号・住所・氏名を明記したもの）を同封し，下記宛に請求してください。

〒890－0065

鹿児島市郡元一丁目21番40号

鹿児島大学工学部学生係

≪募集する学科等≫

各学科は，下記のとおり，推薦による選抜及び学力検査による選抜を行います。

学　　科	募集人員	編入年次	対象となる学科	
			推薦による選抜（高等専門学校のみ）	学力検査による選抜
機械工学科	20人	3年次	機械系学科	出身学科を問わない
電気電子工学科			電気・電子・情報系学科	
建築学科			建築系学科	
環境化学プロセス工学科			化学工学・化学系学科	
海洋土木工学科			土木工学科・建設工学系学科	
情報生体システム工学科			情報・電気・電子系学科	
化学生命工学科			化学・生物系学科	

（注）下記のいずれかに該当する志願者は，編入年次が２年次となることがあります。

⑴　編入学前に修得した科目の中で，各学科の既修得単位として認定可能な合計単位数が少ないなど，編入学後の取得単位と併せても編入学１年後に４年次への進級要件を満たすことができないと判断される場合

⑵　各学科の修学に必要な科目を修得していない場合

推薦による選抜

1．出願資格

高等専門学校を2020年３月卒業見込みの者で，在学中の成績が上位に属し，学校長が学力・人物ともに優秀で，健康状態が良好と認め，責任をもって推薦できる者

また，合格した場合入学を確約できる者

2．出願期間

2019年５月７日㈫～５月10日㈮　16時まで（必着）

出願は，原則として書留速達郵便に限ります。ただし，出願期間を過ぎて到着したものは受理しないので，５月10日㈮16時までに到着しないおそれがある場合は，５月10日㈮に限り個人による持参を認めます。（受付時間は９時～16時（12時～13時を除く。））

3．出願手続

(1) 出願方法

学校長は，出願書類を整え一括して提出してください。郵送の場合は，必ず本学所定の封筒を利用し，「書留速達」郵便で送付してください。

(2) 出願に要する書類等

書類等	摘要
編入学志願票	本学所定の用紙を使用すること
推薦書	本学所定の用紙により出身学校長が作成，厳封したもの
調査書	出身学校長が作成し，厳封したもの
成績証明書	修得した科目と単位数が明記されており，最終学校長が作成し，厳封したもの ただし，単位修得見込みの科目欄に○印をつけること （高等専門学校へ編入した学生については，高校またはそれに該当する学校での成績が明記されていること）
国費留学生証明書	日本国政府国費外国人留学生は，在籍する学校が発行する証明書を提出すること
住民票（写）又はパスポート（写）	日本国籍を有しない者は，市区町村長の発行する在留資格が記載された住民票の写し（又は住民票記載事項証明書），又はパスポートの写（受験のために入国する場合）を提出すること
写真票・受験票	出願前６ヶ月以内に撮影した写真を本学所定の写真票及び受験票に貼付のこと（上半身，脱帽，正面，縦５cm×横４cm）
宛名シール	この要項に折り込まれているシールに氏名，住所及び郵便番号を記入すること ※「様」は消さないこと
入学検定料	30,000円を入学検定料払込書（朱書）により郵便局から払込み後，【郵便振替払込受付証明書（お客さま用）】を所定の台紙に貼付して出願すること 振込手数料は志願者の負担となります 振込期間：2019年４月23日㈫から2019年５月10日㈮ 【注】出身学校において，日本国政府国費外国人留学生として奨学金を受給している者も，検定料を払込んでください。（本学部の入学者選抜に合格し，入学することを前提とした奨学金の延長申請をする者は，延長が決定した場合，本学へ入学した後に検定料を返還しますので，決定通知書を添えて工学部学生係へ申し出てください）
返信用封筒	本学所定の封筒に，住所・氏名・郵便番号を明記し，362円分の切手を貼付のこと　※「様」は消さないこと（受験票等の送付用）

(3) 個人情報の取扱いについて

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律（個人情報保護法）の制定に伴い，出願書類等により入学志願者から提出された個人情報については，入学者選抜･合格者発表･追跡調査及びこれらに付随する事項並びに入学後の学務業務における学籍・成績管理，修学指導等，授業料の債権管理を行うためにのみ利用し，他の目的には使用しません。

(4) 出願書類提出先

〒890-0065　鹿児島市郡元一丁目21番40号

鹿児島大学工学部学生係　　［電話］099－285－3264

４．選抜方法

学校長からの推薦書，調査書，成績証明書，面接及び小論文の結果を総合して判定します。

ただし，機械工学科，電気電子工学科，環境化学プロセス工学科，化学生命工学科の志願者については，小論文は課しません。（配点等については，下表「選抜方法に関する配点」を参照のこと。）

(1) 選抜方法に関する配点

学　　科	推薦書・調査書	成績証明書	面　　接	小　論　文	総合得点
機　械　工　学　科	30	30	40		100
電 気 電 子 工 学 科	30	30	40		100
建　　築　　学　　科	30	30	40	100	200
環境化学プロセス工学科	30	30	40		100
海 洋 土 木 工 学 科	30	30	40	100	200
情報生体システム工学科	30	30	40	100	200
化 学 生 命 工 学 科	30	30	40		100

(2) 面接の方法と評価事項

学　　科	面接の形態		面接時間	評　価　事　項
	面接種類	面接員数		
機　械　工　学　科	個人面接	４～６名	10分	学習意欲，目的意識と適性について評価する。
電 気 電 子 工 学 科		６名	15分	基礎学力，学習意欲，適性について評価する。
建　　築　　学　　科		５名	10分	学習意欲，目的意識，適性について評価する。
環境化学プロセス工学科		３～４名	15分	基礎学力，学習意欲，目的意識について評価する。
海 洋 土 木 工 学 科		３～５名	10分	学習意欲，目的意識と適性について評価する。
情報生体システム工学科		３～５名	10分	勉学意欲，勉学遂行のための能力と知識，コミュニケーション能力と態度について評価する。
化 学 生 命 工 学 科		３～４名	10分	基礎学力，学習意欲，目的意識と適性などについて評価する。

注）受験者数などにより「面接の形態」，「面接時間」を変更することがあります。

(3) 小論文の評価事項

小論文は高等専門学校までに習った関連の専門科目等を基礎に「各専門を学ぶうえで必要な常識的事項，あるいは各専門分野におけるトピック的なもの」を課します。

５．合否判定基準

⑴　学校長からの推薦書・調査書，成績証明書，面接及び小論文の総合得点により順位付けを行い，合否を決定します。

⑵　総合得点が同点の場合，次表に示す科目等の優先順位により順位付けを行います。

学　　科	同点者の優先順位
機　械　工　学　科	１．面接　　２．成績証明書 ３．推薦書・調査書
電 気 電 子 工 学 科	１．面接　　２．成績証明書 ３．推薦書・調査書
建　　築　　学　　科	１．面接　　２．小論文 ３．成績証明書　　４．推薦書・調査書
環境化学プロセス工学科	１．面接　　２．成績証明書 ３．推薦書・調査書
海 洋 土 木 工 学 科	１．小論文　　２．面接 ３．成績証明書　　４．推薦書・調査書
情報生体システム工学科	１．面接　　２．小論文 ３．成績証明書　　４．推薦書・調査書
化 学 生 命 工 学 科	１．面接　　２．推薦書・調査書 ３．成績証明書

６．面接・小論文の日時・場所

期　　日	学　　科	検査科目	時　　間	集合時間	場　所
2019年 ５月25日(土)	機　械　工　学　科	面　　接	９:00～	８：40	工学部 （共通棟入口の掲示板で確認すること）
	電 気 電 子 工 学 科	面　　接	９:00～		
	建　　築　　学　　科	小 論 文 面　　接	11:40～12:30 13:30～	11：20	
	環境化学プロセス工学科	面　　接	９:00～	８：40	
	海 洋 土 木 工 学 科	小 論 文 面　　接	９:00～10:00 11:00～		
	情報生体システム工学科	小 論 文 面　　接	９:00～10:00 11:00～		
	化 学 生 命 工 学 科	面　　接	９:00～		

７．合格者発表

工学部掲示板（工学部共通棟入口）に合格者の受験番号を掲示するとともに合格者本人宛通知します。（電話・電報等による合否の照会は一切応じません。）

2019年６月10日(月)　10時（予定）

また，鹿児島大学工学部ホームページ（http://www.eng.kagoshima-u.ac.jp/）にも合格状況を掲載します。

※　なお，合格者には合格通知と一緒に入学手続書類等を郵送します。

学力検査による選抜

１．出願資格

次のいずれかに該当する者

⑴　理工系の短期大学又は高等専門学校を卒業した者及び2020年３月卒業見込みの者

⑵　外国において，前記⑴と同程度の課程を修了した者及び2020年３月までに修了見込みの者

⑶　理工系の専修学校の専門課程（修業年限が２年以上，総授業時間数が1700時間以上であるものに限る。）を修了した者及び2020年３月修了見込みの者で，かつ，学校教育法第90条第１項に規定する大学入学資格を有する者。

⑷　高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校を含む。）の理工系の専攻科の課程（修業年限が２年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者又は2020年３月修了見込みの者（学校教育法第90条第１項に規定する者に限る。）

⑸　大学を卒業した者及び2020年３月卒業見込みの者，又は学士の学位を取得した者及び2020年３月末までに取得見込みの者

２．出願期間

2019年５月７日㈫～５月10日㈮　16時まで（必着）

出願は，原則として書留速達郵便に限ります。ただし，出願期間を過ぎて到着したものは受理しないので，５月10日㈮16時までに到着しないおそれがある場合は，５月10日㈮に限り個人による持参を認めます。（受付時間は９時～16時（12時～13時を除く。））

３．出願手続

⑴　出願方法

志願者は，出願書類を整え一括して提出してください。郵送の場合は，必ず本学所定の封筒を利用し，「書留速達」郵便で送付してください。

⑵　出願に要する書類等

書類等	摘要
編入学志願票	本学所定の用紙を使用すること
成績証明書	修得した科目と単位数が明記されており，最終学校長あるいは学部長が作成し，厳封したもの 2020年３月卒業見込みの者は単位修得見込みの科目欄に○印をつけること （高等専門学校へ編入した学生については，高校またはそれに該当する学校での成績が明記されていること）
卒業証明書又は卒業見込証明書	出身学校（又は在学校）所定のもの
編入学資格証明書	１．出願資格の⑷に該当する者は，本学所定の用紙を使用し，在籍する学校長が証明したものを提出すること
国費留学生証明書	日本国政府国費外国人留学生は，在籍する学校が発行する証明書を提出すること
住民票（写）又はパスポート（写）	日本国籍を有しない者は，市区町村長の発行する在留資格が記載された住民票の写し（又は住民票記載事項証明書），又はパスポートの写（受験のために入国する場合）を提出すること
写真票・受験票	出願前６ヶ月以内に撮影した写真を本学所定の写真票及び受験票に貼付のこと（上半身，脱帽，正面，縦５㎝×横４㎝）
宛名シール	この要項に折り込まれているシールに氏名，住所及び郵便番号を記入すること ※「様」は消さないこと
入学検定料	30,000円を入学検定料払込書（朱書）により郵便局から払込み後，【郵便振替払込受付証明書（お客さま用）】を所定の台紙に貼付して出願すること 振込手数料は志願者の負担となります 振込期間：2019年４月23日㈫から2019年５月10日㈮ 【注】出身学校において，日本国政府国費外国人留学生として奨学金を受給している者も，検定料を払込んでください。（本学部の入学者選抜に合格し，入学することを前提とした奨学金の延長申請をする者は，延長が決定した場合，本学へ入学した後に検定料を返還しますので，決定通知書を添えて工学部学生係へ申し出てください）
返信用封筒	本学所定の封筒に，住所・氏名・郵便番号を明記し，362円分の切手を貼付のこと　※「様」は消さないこと（受験票等の送付用）

(3) 個人情報の取扱について

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律（個人情報保護法）の制定に伴い，出願書類等により入学志願者から提出された個人情報については，入学者選抜・合格発表・追跡調査及びこれらに付随する事項並びに入学後の学務業務における学籍・成績管理，修学指導等，授業料の債権管理を行うためにのみ利用し，他の目的には使用しません。

(4) 出願書類提出先

〒890-0065　鹿児島市郡元一丁目21番40号
鹿児島大学工学部学生係　　［電話］099－285－3264

４．選抜方法

学力検査及び面接等の結果を総合して判定します。（配点等については，下表「選抜方法に関する配点」を参照のこと。）

⑴ 選抜方法に関する配点

学科	検査科目		学力検査				小論文	面接等	総合得点
			専門教育科目	基礎教育科目	一般教養科目	小計			
機械工学科	専門教育科目及び基礎教育科目		250	150		400		100	500
電気電子工学科	専門教育科目及び基礎教育科目		300	100		400		100	500
建築学科	建築系を専攻している志願者(注1)	専門教育科目	400			400		100	500
	建築系を専攻していない志願者	一般教養科目 小論文			200	200	200	100	500
環境化学プロセス工学科	基礎教育科目			400		400		100 （注２）	500
海洋土木工学科	土木系を専攻している志願者	専門教育科目	400			400		100 （注３）	500
	土木系を専攻していない志願者	基礎教育科目 小論文		300		300	100	100	500
情報生体システム工学科	専門教育科目及び基礎教育科目		300	100		400		100	500
化学生命工学科	専門教育科目		400			400		100	500

（注１）土木系の学科またはこれに準ずる学科で建築に関する専門教育を受けた者は建築系を専攻している志願者としても受験することができます。
（注２）環境化学プロセス工学科では，面接が50点，成績証明書50点の100点満点で評価します。
（注３）海洋土木工学科では，面接に加えて成績証明書により総合的に判断し，100点満点で評価します。

⑵ 学力検査科目

学科	検査科目		内容
機械工学科	専門教育科目		材料力学，工業熱力学，水力学，機械工作法の中から２科目を選択する
	基礎教育科目		数学（注１）
電気電子工学科	専門教育科目		電気磁気学，電気回路学
	基礎教育科目		数学（注１）
建築学科	建築系を専攻している志願者	専門教育科目	構造力学，建築計画及び環境工学
	建築系を専攻していない志願者	一般教養科目	英語，数学，力学の基礎的問題
		小論文	建築を学ぶ上で必要な常識的事項，あるいは建築分野におけるトピック的な問題
環境化学プロセス工学科	基礎教育科目		化学，物理，数学の基礎的内容についての口頭試問（注３）
海洋土木工学科	土木系を専攻している志願者	専門教育科目	構造力学，水理学，土質力学，土木材料
	土木系を専攻していない志願者	基礎教育科目	数学（注１），物理（注２）
		小論文	土木工学，海洋工学を学ぶ上で必要な基礎知識，基礎学力，学習意欲を評価できる問題
情報生体システム工学科	専門教育科目		プログラム基礎，計算機工学，電気回路から２科目選択
	基礎教育科目		数学（注１）
化学生命工学科	専門教育科目		有機化学，分析化学，物理化学，高分子化学，生物化学の５科目の中から４科目選択

（注１）微分，積分，ベクトル，行列を中心に出題します。
（注２）教養課程程度の一般物理を出題します。
（注３）当日出題される問題に対し，考える時間を与えて解答してもらいます。
（注４）関数付電卓を使用することができる学科は以下の通りです。各自持参してください。
化学生命工学科，建築学科（「建築系を専攻していない志願者」の一般教養科目に限る）

⑶ 面接の方法と評価事項

学　　科	面接の形態		面接時間	評　価　事　項
	面接種類	面接員数		
機　械　工　学　科	個人面接	５～７名	10分	学習意欲，目的意識と適性について評価する。
電 気 電 子 工 学 科		４～６名		学習意欲と適性について評価する。
建　　築　　学　　科		５名		基礎学力，学習意欲，目的意識，適性について評価する。
環境化学プロセス工学科		３～４名		学習意欲，目的意識について評価する。
海 洋 土 木 工 学 科		３～５名		学習意欲，目的意識と適性について評価する。
情報生体システム工学科		３～５名		勉学意欲，勉学遂行のための能力と知識，コミュニケーション能力と態度について評価する。
化 学 生 命 工 学 科		３～４名		基礎学力，学習意欲，目的意識と適性などについて評価する。

注）受験者数などにより「面接の形態」，「面接時間」を変更することがあります。

５．合否判定基準

⑴　学力検査，小論文及び面接等の総合得点により順位付けを行い，合否を決定します。

⑵　総合得点が同点の場合，次表に示す科目等の優先順位により順位付けを行います。

学　　科		同点者の優先順位
機械工学科		１．学力検査　　２．面接
電気電子工学科		１．学力検査　　２．面接
建 築 学 科	建築系を専攻している志願者	１．面接　　２．学力検査
	建築系を専攻していない志願者	１．面接　　２．学力検査＋小論文
環境化学プロセス工学科		１．学力検査　　２．面接等（面接＋成績証明書）
海洋土木工学科	土木系を専攻している志願者	１．学力検査　　２．面接
	土木系を専攻していない志願者	１．学力検査＋小論文　２．面接
情報生体システム工学科		１．学力検査　　２．面接
化学生命工学科		１．学力検査　　２．面接

６．学力検査の日時・場所

期　日	学　　科	検査項目・科目		時　間	集合時間	場所
2019年 ５月25日(土)	機　械　工　学　科	基礎教育科目	数学	９:00～10:30	８：40	工学部 （共通棟入口の掲示板で確認すること）
		専門教育科目		10:50～12:50		
		面接		14:30～		
	電 気 電 子 工 学 科	専門教育科目及び基礎教育科目		９:00～12:30		
		面接		13:30～		
	建　築　学　科	建築系を専攻している志願者	専門教育科目	９:00～12:30		
			面接	13:30～		
		建築系を専攻していない志願者	一般教養科目	９:00～11:30		
			小論文	11:40～12:30		
			面接	13:30～		
	環境化学プロセス工学科	基礎教育科目		９:00～（注１）		
		面接				
	海 洋 土 木 工 学 科	土木系を専攻している志願者	専門教育科目	９:00～12:30		
			面接	13:30～		
		土木系を専攻していない志願者	基礎教育科目	９:00～11:00		
			小論文	11:10～12:30		
			面接	13:30～		
	情報生体システム工学科	専門教育科目及び基礎教育科目		９:00～12:30		
		面接		13:30～		
	化 学 生 命 工 学 科	専門教育科目		９:00～12:30		
		面接		13:30～		

（注１）学力検査（口頭試問）と面接を連続して行います。（学力検査20分＋面接10分，合計30分）

７．合格者発表

工学部掲示板（工学部共通棟入口）に合格者の受験番号を掲示するとともに合格者本人宛通知します。（電話・電報等による合否の照会は一切応じません。）

2019年６月10日(月)　10時（予定）

また，鹿児島大学工学部ホームページ（http://www.eng.kagoshima-u.ac.jp/）にも合格状況を掲載します。

※　なお，合格者には合格通知と一緒に入学手続書類等を郵送します。

８．追加合格（学力検査による選抜）

入学手続を完了した者が募集人員に満たない場合は，追加合格により欠員の補充を行う場合があります。

その場合，追加合格候補者には，2019年７月17日（水）から，入学願書に記載された連絡先に電話で連絡しますので，その際，確実に連絡がとれるように措置を講じておいてください。

本学部からの電話連絡の際，追加合格候補者が不在等で本人との連絡・確認ができなかった場合は，入学の意思がないものとして取り扱うことがあります。

編入学後の履修について

１．高等専門学校，大学，理工系短期大学及び専修学校を2020年３月卒業見込みの方

⑴　編入学試験時には，提出された高等専門学校，大学，理工系短期大学及び専修学校の現在までに修得している科目の成績証明書により編入学後の卒業要件単位の取得可能性を判断しております。ただし編入学後は，高等専門学校等を卒業するまでに修得した科目の成績に対して，当該学科の卒業要件単位と認定することの可否を改めて判定いたします。

したがって，現在履修中の科目もしっかり勉学に励んで下さい。

⑵　３年次に編入した後，不足する単位については当該学科でのカリキュラムに従って，卒業要件を満たすように単位を修得しなければなりません。１学期に履修できる単位数は，原則20単位までという上限がありますので，認定された科目（単位）数が極めて少ない場合は，４年次進級に必要な科目（単位）を１年間で履修できないことがあります。

２．第３年次特別編入学者に係る教員免許取得の取扱い（高等専門学校出身者）

編入学前の既修得単位を単位認定した科目の中で，「教員免許取得のための教科に関する科目として適当であると認めた科目」の取扱いは以下のとおりとなります。

教育職員免許法施行規則　第66条の７		
高等専門学校（第４学年及び第５学年に係る課程に限る）で修得した科目に係る科目で教科に関する科目として適当であると認めた科目	⇒	高等学校教諭普通免許状については10単位を限度

注　意　事　項

１．出願時の注意

⑴　入学検定料払込書の入学志願学部，学科，編入学に○印，おところ，おなまえ（フリガナ），電話番号を黒のボールペンで正確に記入してください。

⑵　郵便局の窓口で，払込期間内（2019年４月23日㈫から2019年５月10日㈮）に払込にて納付してください。

※　郵便普通為替証書・現金での納付はできません。

※　ＡＴＭ（現金自動預入払出機）での払込はできません。

⑶　払込後【郵便振替払込受付証明書（お客さま用）】（日附印のないものは無効）を所定の台紙に貼付して出願書類に同封してください。また，受領証は各自で保管してください。

⑷　入学検定料が払込まれない場合，【郵便振替払込受付証明書（お客さま用）】が出願書類に同封されていない場合，【郵便振替払込受付証明書（お客さま用）】に日附印がない場合は，出願書類は受理しません。

⑸　既納の入学検定料は次の場合を除き，いかなる理由があっても返還いたしません。

①　入学検定料を払込んだものの，出願しなかった場合（出願書類を提出しないまま受付期限が終了したり，書類不備等により出願書類が受理されなかった場合）。

②　誤って入学検定料を二重に払込んだ場合。

⑹　出願後の出願書類の返却並びに記載事項の変更は認めません。

⑺　出願書類の記載事項と相違の事実が判明した場合は，入学許可を取り消すことがあります。

⑻　本学の受験に際し宿泊を必要とする場合は，各自で宿舎等の確保をしてください。

２．受験上の注意

⑴　受験者は，検査員の許可がなければ検査室に出入りすることができません。

⑵　受験者は，受験の際に必ず受験票を携行してください。なお，入学手続の際にも必要となるので，大切に保管してください。

⑶　検査開始時刻に遅刻した者や受験票を忘れた者は，検査場本部に申し出てください。検査開始後30分を越えて遅刻したときは，その科目以降の受験を認めません。

⑷　原則として，追試験は行いません。

⑸　鉛筆（シャープペンシルも可）・消しゴム・小型定規（直線定規）・鉛筆削り（電動式を除く。）等は各自用意し，検査中に他人の物品を借りたり，共用したり，検査に必要のない物品を持ち込んだりしてはいけません。

⑹　時計を使用する場合は，計時機能だけのものとします。アラームや時報機能のついた時計は，検査室に入る前に必ずアラームや時報の設定を解除しておいてください。

⑺　スマートフォン，携帯電話，ウェアラブル端末等の電子機器類は，検査室に入る前に必ずアラームの設定を解除し，電源を切ってかばん等に入れておいてください。検査時間中に，これらをかばん等に入れず，身に付けていたり，手に持っていると不正行為となることがあります。

なお，検査時間中にかばん等の中でスマートフォン，携帯電話，ウェアラブル端末等の着信音やマナーモードの振動音が発生した場合は，検査員が本人の了解を得ずにかばん等を検査室外に持ち出し，検査場本部で当該検査時間終了まで保管します。

⑻　検査室に入室してから検査終了まで退室を認めません。ただし，検査中に発病等やむを得ない場合には，手を挙げて検査員の指示に従ってください。この場合，検査時間の延長は認めません。

⑼　検査に際して不正行為が認められた受験者については，その検査は無効とし，その後の受験を認めません。この場合，すべての成績が無効となり，合否判定の対象者とはなりません。

⑽　検査場の配置等は，検査前日の15時までに工学部掲示板（工学部共通棟入口）に掲示しますので確認しておいてください。ただし，検査棟内への立入りはできません。

⑾　検査当日は，自動車・バイク等による入構を禁止します。

障害のある入学志願者の事前相談

学校教育法施行令第22条３に定める障害等（次表参照）のある志願者又は発達障害のある志願者で，受験上特別な措置及び修学上特別な配慮を必要とする者は，あらかじめ本学と相談してください。

なお，補聴器，松葉杖，車椅子等を使用している場合も事前相談が必要です。

区　分	障　害　の　程　度
視覚障害者	両眼の視力がおおむね０．３未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち，拡大鏡等の使用によっても通常の文字，図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴覚障害者	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のもののうち，補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由者	１　肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行，筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの ２　肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないもののうち，常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病弱者	１　慢性の呼吸器疾患，腎臓疾患及び神経疾患，悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの ２　身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの

（注）学校教育法施行令第22条の３の規定に準拠した。

１．相談の期間

原則として，2019年４月23日㈫までとします。

※　相談の内容によっては対応に時間を要することがあり，本学の試験までに対応できずに特別な配慮が講じられないこともありますので，できるだけ早い時期に相談してください。

２．相談の方法

電話などにより事前に連絡した上で，次の内容を記載した相談書（様式任意）等を提出してください。

⑴　事前相談書（次の事項等を記載したもの。）

①　志願者の氏名及び生年月日
②　志願者の現住所，電話番号及び保護者の連絡先
③　出身学校
④　志願学科
⑤　障害の種類・程度
⑥　受験上特別な措置を希望する事項
⑦　修学上特別な配慮を希望する事項
⑧　出身学校等でとられていた特別な配慮
⑨　日常生活の状況

⑵　医師の診断書

⑶　その他参考書類（身体障害者手帳等の写し）

３．問い合わせ先

〒890-0065　鹿児島市郡元一丁目21番40号
鹿児島大学工学部学生係　［電話］099－285－3264

入　学　手　続

入学手続書類等は，合格通知書と一緒に送付しますので，下記の期日の間に必着するよう郵送，または工学部学生係窓口で入学手続を行ってください。

１．入学手続期間

2019年７月11日㈭～７月12日㈮　９時～17時（ただし，12時～13時を除く。）
（郵送の場合も，７月12日㈮17時までに必着のこと。）

２．提出書類

宣誓書，在学保証書，受験票，※卒業（修了）証明書，※成績証明書（卒業（修了）後のもの），入学料郵便振替払込受付証明書（お客さま用）
※卒業（修了）証明書，成績証明書（卒業（修了）後のもの）については，入学手続時に提出できない場合は，2020年３月13日㈮までに提出してください。

３．納付金の納入

⑴	入　学　料		282,000円
⑵	授　業　料	前期分	267,900円
		（年額	535,800円）

※　入学料，授業料に改定があった場合は，改定後の納付金を納入いただくことになります。

（注意）

１）授業料は，免除申請中の者を除き，本人指定の口座から前期分を５月下旬に，後期分を10月下旬に引き落とします。

２）既納の入学料は，次の場合を除き，いかなる理由があっても返還できません。

㋐　入学料を払込んだが，入学手続をしなかった場合

㋑　入学料を誤って二重に払込んだ場合

３）在学中に授業料の改定が行われた場合は，改定時から新授業料が適用されます。

４）推薦による選抜で合格した者で，特別な事由により入学を辞退する者は，出身学校長を経由して，具体的な辞退理由を記し，署名・押印した「編入学辞退届」（様式任意）を2019年７月５日㈮17時までに本学工学部長あてに作成して工学部学生係に提出し，許可された場合に限り入学辞退を認めます。

５）入学手続終了後，都合により入学を辞退する場合，工学部学生係に入学辞退を申し出て，所定の手続きを2020年３月31日㈫までに行ってください。この場合，入学料を除き，既に納付済みの諸会費等（例：学友会費，同窓会費，学生教育研究災害傷害保険料等）を返還します。

入 試 情 報 開 示

小論文，学力検査等問題の正解・解答例の開示

合格発表後，「正解・解答例」を工学部学生係で開示します。

なお，次の点にご留意ください。

１．正解・解答例については，「例示」であり，複数の正解・解答例があり得ます。

２．正解・解答例に代えて，出題意図を開示する場合もあります。

入学者選抜試験個人成績の開示

2020年度入学者選抜に係る受験者の個人成績を次により開示します。

１．開示内容

⑴　試験成績

学力検査等の個々の科目の得点及び総合得点を開示します。

⑵　調査書

「各教科･科目等の学習の記録」等について開示します。なお，郵送による開示請求の場合は開示しません。

２．開示期間　　2019年６月10日㈪～2019年８月２日㈮　９時～17時

ただし，土・日曜日，祝日を除く。

３．開示請求申込方法

請求者　受験者本人に限ります。（代理人の請求は認めない）

開示方法

⑴　工学部学生係で開示します。

「2020年度鹿児島大学工学部編入学試験受験票」を必ず持参してください。

⑵　郵送により開示請求を行う者は，次の①～③を取り揃えて，封筒の表に**「入試情報開示請求」と朱書し，**必ず**書留郵便**で請求してください。ただし，開示期間中の消印のあるものに限り受け付けます。

①　入試情報開示請求書（様式は右記のとおり）

②　2020年度鹿児島大学工学部編入学試験受験票

③　返信用封筒（長形３号の封筒に392円分の切手を貼付し，自分の宛先を明記したもの）

⑶　請求先

〒890－0065　鹿児島市郡元一丁目21番40号

鹿児島大学工学部学生係

４．その他

平成31年度以前の個人成績は開示しません。

【郵送による場合の様式】　　Ａ４用紙

入 試 情 報 開 示 請 求 書

年　　月　　日

鹿児島大学工学部長　殿

請求者　現住所＿＿＿＿＿＿＿＿

電話＿＿＿＿＿＿＿＿

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿

選抜の方法

推薦による選抜

学力検査による選抜

受験学科＿＿＿＿学科

受験番号＿＿＿＿＿＿＿＿

私の入試成績について，入試情報の開示を請求します。

注：開示請求する選抜方法に○印を付す。

（資料）平成30年度入学者選抜に関する入試状況

	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
推薦による選抜	20	75	74	37	23
学力検査による選抜					

2020年度
鹿児島大学工学部編入学試験志願票

選抜方法	**1．推薦による選抜** **2．学力検査による選抜**	受験番号	※この欄は記入しない
志望学科			
フリガナ			
氏名			
	外国人は，英字または漢字で記入（ファミリーネーム　ファーストネーム　ミドルネーム　の順）		
生年月日	昭和・平成（　　年）　月　日	性別	1．男　2．女
本籍	都・道・府・県	外国人は国籍	
出願資格	1．国立 2．公立 3．私立 都・道 府・県 1．大学 2．短期大学 3．高等専門学校 4．専修学校 学部　学科 西暦　年　月 卒業・卒業見込 修了・修了見込		
卒業後の履歴（該当者）	昭和・平成　年　月		
	昭和・平成　年　月		
	昭和・平成　年　月		

連絡先	本人への連絡先	フリガナ	
		住所	（〒　　）
		電話	（　　）—（　　）—（　　）
	合格通知先	フリガナ	
		住所	（〒　　）
		電話	（　　）—（　　）—（　　）

（注）1．所要事項を記入し，該当事項または番号を○で囲むこと。
2．建築学科志願者で，建築系を専攻していない志願者として志望する場合，志望学科欄に「建築系を専攻していない志願者」と記入すること。
3．海洋土木工学科志願者で，土木系を専攻していない志願者として志望する場合，志望学科欄に「土木系を専攻していない志願者」と記入すること。
4．卒業後の履歴のある者は，最近のものを記入すること。
5．志願票，受験票，写真票の生年月日欄の（　　年）には西暦を記入すること。

2020年度
鹿児島大学工学部編入学試験
受　験　票

志望学科	
受験番号	※
フリガナ 氏名	男・女
昭和・平成（　　年）　月　日生	
写真貼付欄 5×4cm	

※　この受験票は入学手続の際に必要ですので，大切に保管してください。

2020年度
鹿児島大学工学部編入学試験
写　真　票

志望学科	
受験番号	※
フリガナ 氏名	男・女
昭和・平成（　　年）　月　日生	
写真貼付欄 5×4cm	

受験番号	※

推薦入学者用

推　薦　書

フリガナ
生徒氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　男・女

上記の者は，貴学の推薦入学要件に該当しますので責任をもって推薦します。

年　　月　　日

鹿児島大学工学部長殿

（〒　　）

所　在　地

学　校　名　　高等専門学校

学校長氏名

印

記入責任者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　㊞

学業	成績順位	3　学　年	4　学　年
		人中　位	人中　位
	所見		
推薦理由			
人物			
生活態度 その他			

（注）※記入の際には，裏面の「記入要領」を参照してください。　　※印欄は記入しないでください。

推薦書記入要領

1．記入は，ワープロ（貼り付ける場合は割印を押す），手書きのいずれでも構いません。ただし，※印欄は，記入しないでください。

2．記入責任者印及び学校長印（公印）は，必ず押印してください。

3．学　業

①　学業成績については，志願者の当該学年における席次を記入してください。ただし，高等学校等からの編入学生で３年次の席次が明記できない場合は，出願資格を満たしていることを確認できる書類を添付してください。

②　所見欄には，授業中の態度，勉学の自発性，計画性，理解力及び創造的思考能力等につき具体的に記入してください。

4．推薦理由

推薦される理由を具体的に記入してください。

5．人物

人柄･資質等について特徴を具体的に記入してください。

6．生活態度・その他

課外活動状況，生活態度等について具体的に記入してください。

編入学資格証明書【高等学校専攻科修了（見込）者用】

※作成前に必ず別紙「編入学資格証明書【高等学校専攻科修了（見込）者用】の発行について」をご確認ください。

下記の者は，以下の条件を満たし，学校教育法58条の２の規定に基づき，大学に編入学することができる専攻科を修了した，または修了見込みであることを証明する。

（条件）修業年限が２年以上で，かつ文部科学大臣が定める以下のアまたはイの基準のいずれかを満たす課程を修了した，または修了見込みであること。

ア．高等学校の専攻科のうちその課程を修了した者が大学に編入学することができるものの課程の基準（平成28年文部科学省告示第63号）

イ．特別支援学校の高等部の専攻科のうちその課程を修了した者が大学に編入学することができるものの課程の基準（平成28年文部科学省告示第64号）

フリガナ		性　別	男　・　女
氏　　名		生年月日	西暦　　年　　月　　日生
在籍期間	入学　西暦　　年　　月　　日 修了／修了見込　西暦　　年　　月　　日		
休学期間	自　西暦　　年　　月　　日 至　西暦　　年　　月　　日		
学校名（在籍時）			
専攻科名（在籍時）			
現校名または事務移管先	※〔いずれかの場合に○〕 変更・統合・廃校　年月日：昭和・平成　　年　　月　　日		
通学区分	□全日制　□定時制　□通信制　□特別支援学校		
専攻科設置届出受理年月日	西暦　　年　　月　　日 ※学校創立年月ではありません。上記専攻科の設置届出受理年月を記入してください。		

<上記の者の貴校における年間授業時間数，修得単位数記入欄>

学　　年	1	2	3	4	合計	備　　考
年　　度	年度	年度	年度	年度		
時　間　数						
修得単位数						

鹿児島大学　工学部長　殿

記載事項について誤りのないことを証明します。

西暦　　年　　月　　日

学 校 名

所 在 地

学校長名　　（学校長印）

証明書発行ご担当者各位

鹿児島大学工学部
学生係

編入学資格証明書【高等学校専攻科修了（見込）者用】の発行について

「編入学資格証明書【高等学校専攻科修了（見込）者用】」は高等学校専攻科を修了された方が，当学部に編入学するにあたっての資格要件を確認する為の書類となります（修了見込を含む）。

以下の留意点をご一読の上，ご不明な点等ございましたら，当学部までご連絡お願いいたします。

＜記入方法＞

・全ての項目について，貴校にてもれなくご記入ください（志願者本人不可）。
・学校名は在籍時の校名を記入し，変更がある場合は，下段に現在の校名と変更年月日をご記入ください。また，廃校の場合は，廃校年月日と証明書発行業務等の事務移管先をご記入ください。また，廃校の場合の証明者は，事務移管先およびその責任者となります。その場合，本書最下欄の「学校名」「学校長名」をそれぞれ二重線で訂正し「事務移管先」「責任者」をご記入ください。
・「学年」欄をご確認の上，「年度」，「時間数」，「修得単位数」の各欄を必ず記入してください。
・「時間数」欄には，修得単位の授業時間数を記入してください。
・編入学資格を満たさない場合，発行はせず，証明書の発行依頼者に本証明書を発行できない理由をご説明ください。

＜参考＞　高等学校の専攻科のうちその課程を修了した者が大学に編入学することができるものの課程の基準の概要（全日制の場合）

【修業年限】　２年以上　（学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第100条の２第１号）

【修了要件】　62単位以上　（平成28年文部科学省告示第63号）

※授業科目の単位数を定めるに当たっては，１単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし，専攻科の教育の特性を踏まえつつ，授業の方法に応じ，当該授業による教育効果，授業時間外に必要な学修等を考慮して，次の基準により単位数を計算するものとすること。

①講義及び演習については，15時間から30時間までの範囲で高等学校が定める時間の授業をもって１単位とする。

②実験，実習及び実技については，30時間から45時間までの範囲で高等学校が定める時間の授業をもって１単位とする。ただし，音楽等の学科における個人指導による実技の授業については，高等学校が定める時間の授業をもって１単位とすることができる。

③１の授業科目について，講義若しくは演習又は実験，実習若しくは実技のうち２以上の方法の併用により行う場合については，その組合せに応じ，上の①，②に規定する基準を考慮して高等学校が定める時間の授業をもって１単位とする。

【教員組織】　専攻科の全日制の課程における教員の数は，（文部科学省告示の）別表第１に定める数以上とすること。教員の数の半数以上は，専任の教員（専ら当該専攻科における教育に従事する校長が教員を兼ねる場合にあっては，当該校長を含む。以下同じ。）でなければならないこと。ただし，当該専任の教員の数は３人を下ることができないこと。（平成28年文部科学省告示第63号）

【施　　設】　専攻科を置く高等学校の校舎には，当該専攻科の目的，生徒数，課程又は学科に応じ，専ら当該専攻科の授業の用に供する教室その他必要な附帯施設を備えなければならないこと。専攻科を置く高等学校は，当該専攻科の目的に応じ，専ら当該専攻科の授業の用に供する実習場その他の必要な施設を確保しなければならないこと。（平成28年文部科学省告示第63号）

＜お問合せ先＞
鹿児島大学工学部学生係
Tel：099-285-3264　Fax：099-285-3410
e-mail：egakusei@kuas.kagoshima-u.ac.jp

入学検定料払込書

郵便局から払込み後
出願書類に添えて提出してください。

↓

払込取扱票

00 福岡

口座記号番号												金額	千	百	十	万	千	百	十	円
0	1	7	0	0	ー	3		1	2	9	5	3	5				3	0	0	0	0

加入者名 国立大学法人 鹿児島大学　　料金　備考

ご依頼人・通信欄
おところ・おなまえ ※
○編入学・学士編入学・再入学
志願学部名 ＿＿＿＿＿＿＿＿ 学部
住　所
フリガナ
氏　名
連絡先（　　ー　　ー　　）

日附印

裏面の注意事項をお読みください。（ゆうちょ銀行）（承認番号福第13666号）
これより下部には何も記入しないでください。

各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。

切り取らないでお出しください。

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	0 1 7 0 0 ー 3							
		1	2	9	5	3	5	
加入者名	国立大学法人 鹿児島大学							
金額	千	百	十	万	千	百	十	円
				3	0	0	0	0
ご依頼人	おなまえ ※ 様							
料金	（消費税込み） 円	日附印						
備考								

この受領証は、大切に保管してください。

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

振替払込受付証明書（お客さま用）

（ご依頼人⇨郵便局・ゆうちょ銀行⇨ご依頼人）

口座記号番号	0 1 7 0 0 ー 3 ー 1 2 9 5 3 5								
加入者名	国立大学法人 鹿児島大学								
払込金額	億	千	百	十	万	千	百	十	円
					3	0	0	0	0
ご依頼人住所氏名									

日附印

（承認番号福証第1177号）

1．この振替払込受付証明書（お客さま用）を郵便局の窓口で受け取る際は、受付局日附印を確認してください。
2．この振替払込受付証明書（お客さま用）を出願書類に同封して提出してください。

（ご注意）
・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きＡＴＭでもご利用いただけます。
・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
・払込みの際、法令等に基づき、運転免許証等、顔写真付きの公的証明書類のご提示をお願いする場合があります。
・この用紙による、払込料金は、ご依頼人様が負担することとなります。
・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収入印紙

課税相当額以上

貼　　付

印

この場所には、何も記載しないでください。

※この欄は記入しない。

【入学検定料郵便振替払込受付証明書（お客さま用)】貼付用台紙

選抜区分	編　入　学		
フリガナ 志願者氏名		志願学部名	学部
志願学科名	学科		

日附印を受けた入学検定料郵便振替払込受付証明書（お客さま用）を必ず貼付すること。

鹿児島大学位置図

工学部へのアクセス

徒　　歩：ＪＲ鹿児島中央駅から約 20 分

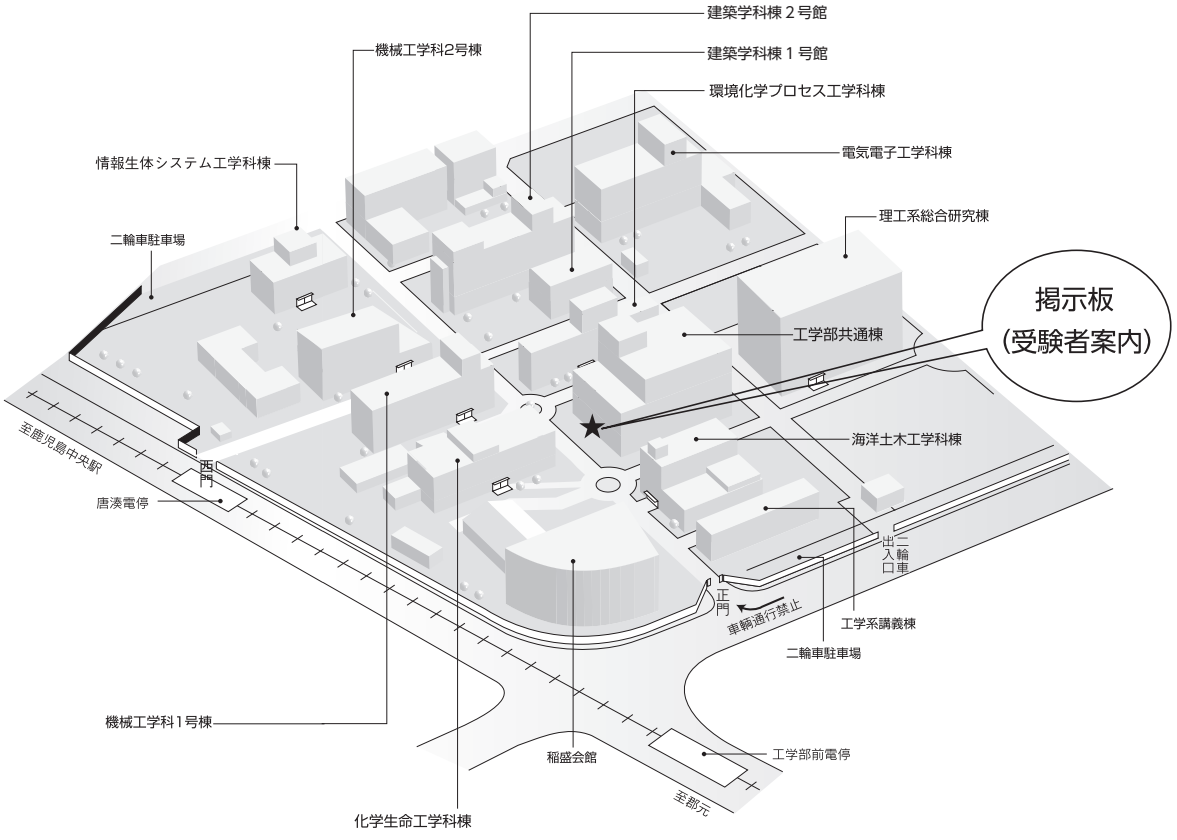
市　　電：「鹿児島中央駅」乗車，「唐湊」「工学部前」下車約３分

市営バス：ＪＲ鹿児島中央東口バスのりば「東 14」から「⑱大学病院線（市役所前）」または「東 15」から「⑨武岡・鴨池港線」「⑪鴨池・冷水線」「⑳緑ヶ丘・鴨池港線」を利用し，「法文学部前」下車，徒歩約 10 分

鹿児島交通バス：「⑲」「法文学部前」下車，徒歩約10分

南国交通バス：「㉚」「鹿大教育学部前」下車，徒歩約７分

工学部案内図



編入学試験に関するお問い合わせ先

鹿児島大学工学部学生係

〒８９０－００６５　　鹿児島市郡元一丁目２１番４０号
ＴＥＬ　　０９９－２８５－３２６４